

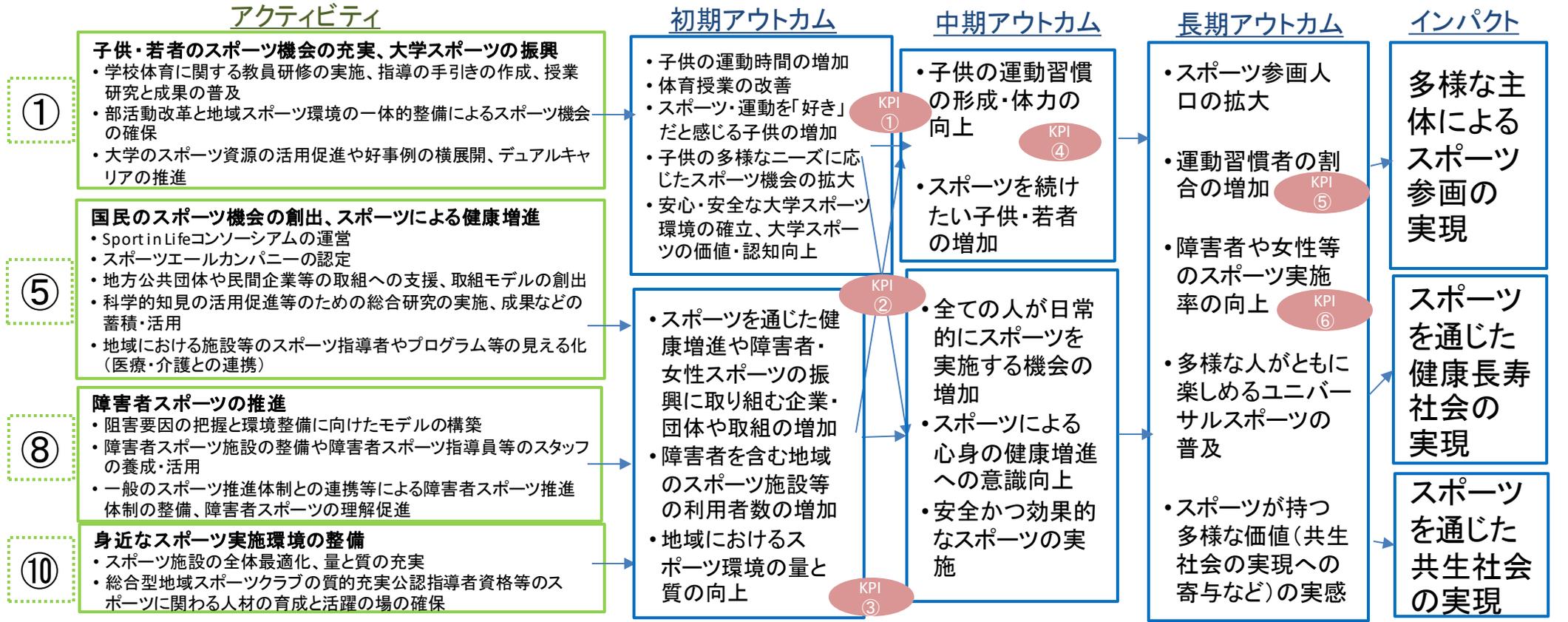
東京大会を契機とした共生社会の実現、多様な主体によるスポーツ参画の実現

- 現状**
- 課題**
- 目的**

東京大会には多様な人が関わり、大会を契機として、スポーツへの関心や共生社会等への機運が高まった。成人のスポーツ実施率は第2期計画策定時と比較し概ね上昇傾向である。

子供の運動習慣や体力が低下傾向にあり、感染症の流行が拍車をかけているとも考えられる。部活動が少子化の進展により、これまで同様の学校単位での体制の運営が困難になっている。スポーツによる健康増進の効果に係るエビデンスについて、更なるエビデンスの蓄積や、それらをまとめ活用するための体制が必ずしも十分ではない。障害者のスポーツ実施率は成人一般と比べると低くなっており、女性や働く世代・子育て世代のスポーツ実施率が低くなっている。地域でのスポーツ環境整備にあたって、指導者や場の充実・確保が必要である。

一人一人が「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受できる社会として、地域住民の多様なニーズに応じて、子供から高齢者まで多様な主体によるスポーツ参画の実現や、スポーツを通じた健康長寿社会の実現を目指す。障害者や女性等の様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境の構築を通じ、スポーツを通じた共生社会を実現する。



- KPI ①** 1週間の総運動時間が60分未満の子供の割合
目標 (R8) : 12%(R3)から半減(児童)、13%(R3)から半減(生徒)
現状 (R5) : 児童12.5%、生徒18.0%
- KPI ②** Sport in Lifeコンソーシアム加盟団体数
目標 : 3,000団体 (R5)
現状 : 約3,300団体 (R6年1月末時点)
- KPI ③** 学校体育施設開放頻度
目標 : 100%に近づける (R8) 現状 : 71.8%
(年間を通じ平日に開放を行う学校の割合)
- KPI ④** 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用
目標 : 認証制度の運用開始 (R6)
現状 : 登録制度のみの運用 (R4~)
(JSPOの中期計画における登録クラブ数目標値 : 2,700(~R9))
- KPI ⑤** 20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率
目標 : 70% (R8)、現状 : 52.3%
- KPI ⑥** 障害者の週1回以上のスポーツ実施率
目標 : 40% (若年層50%)程度 (R8)
現状 : 30.9%
- 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用
目標 : 認証制度の運用開始 (R6)
現状 : 登録制度のみの運用 (R4~)
(JSPOの中期計画における登録クラブ数目標値 : 2,700(~R9))
- 新体力テストの総合評価C以上
目標 : 児童80%以上、生徒85%以上 (R8)
現状 : 児童67%、生徒 74% (R5)
- 卒業後も運動・スポーツを継続したい子供の増加
目標 : 児童90%以上、生徒90%以上 (R8)
現状 : 児童86%、生徒 81% (R5)
- 20歳以上の年1回以上スポーツを実施する割合
目標 : 100%に近づける (R8)、現状 : 77.5%
- 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施し、1年以上継続している運動習慣者の割合
目標 : 27.2%より増加 (R8)
現状 : 27.2%(男性 30.1%、女性24.3%)
- 障害者の年1回以上のスポーツ実施率
目標 : 70%程度 (若年層は80%程度) (R8)
現状 : 54.1%
- 障害者スポーツを体験したことのある者の割合
目標 : 20%程度 (R8)
現状 : 5.9%